

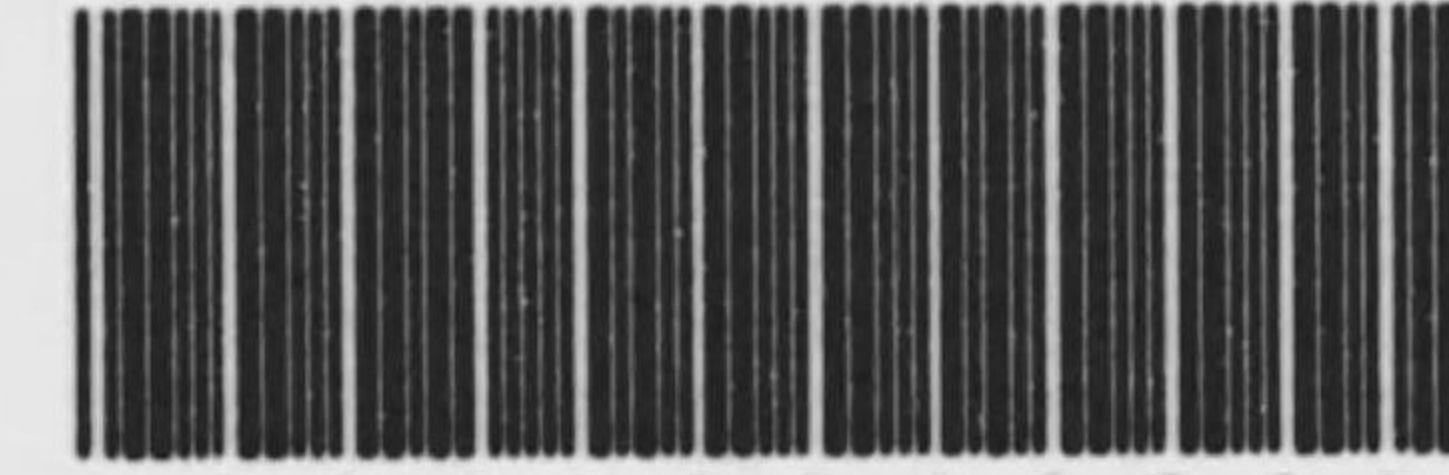
特501

910

新しい形態の組織へ

(昭和パン7 特輯オ/号)

国立国会図書館



0034004000

0034004-000

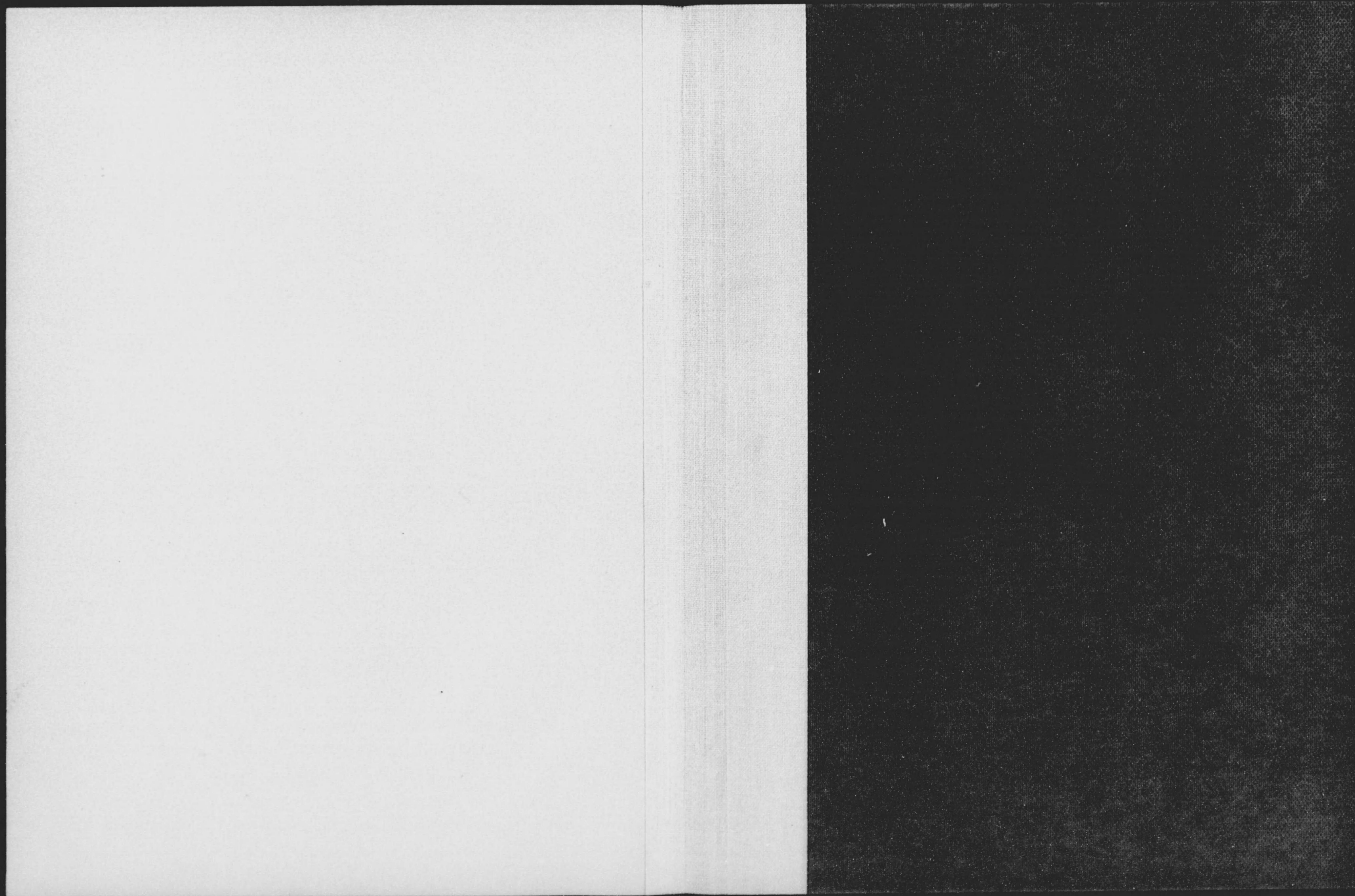
特501-910

新しい形態の組織へ

[国際通信社]

[昭和11. 1]

AGC



特501
910

昭和パンフ
特輯第一號



新しい形態の組織へ

一部五仙

新しい型の 大衆的 青年組織へ

フアシズムに抗して——
青年子弟の統一戦線をきづけ

【以下は、昨年（昭和十年）九月モスコに開催された国際青年共産黨第六回世界大会によつて万が一採用された決議の邦譯である。此決議に指し示された方針こそ、青年統一戦線の統一、大衆的、青年子弟の統一の指針となるべきものである。本誌既刊「青年子弟とフアシズム」と題する同志クラシネンの討論と共に、熟讀、研究の上、之を大衆化し、實踐に移されん事を希望する「編者」】

青年統一戦線の諸任務

資本主義諸國の青年子弟の生活は、近來著しく引き下げられ、其後、更に悪化を續けてゐる。青年子弟の大多数は、今や、假借なく抑壓され搾取されるものとなつてゐる。

△ 今日の青年

大衆的な失業、成長しても仕事も見つからぬ、一般に、職を覺える機会さへ持たぬ青年の数は、日々其數を増し、窮乏に就く青年は猛烈に搾取されてゐる。農村の子は窮乏し、政治的權利、文化的生活への權利は、青年に與へられて

ない。普通教育、特殊教育は、ともに、著しく減少され、前途は暗く、青年子弟の正常、健全な生活は打壊され、漂泊、醜態、門付け等は、一般的に擴がつてゐる。

強制的労働、軍事化等のフアシズムの制度は、資本主義諸國に於て、益々廣範圍に及ぼつて行はれるやうになつた。フアシズムは、暴民にも、革命的青年中の最優秀分子を全滅せんとするとともに、他方、勤勞青年の間に、根強く根をはつて行きつつある現在の生活條件に對する不満と、益々燃えあがりつつある闘志を、自己の反動的な目的の爲に利用せんと試みてゐる。自國青年を、他國青年に反目せしめ、かくて、フアシズムは、排外主義を煽り、氣狂ひじみた「人種（優劣）論」を、青年の胸裡に埋み込めんと努めてゐる。

大ブルジョアジイは、フアシスト共や、其他の反動的政黨に頼り、青年を、自己の階級的、且、帝國主義的諸政策（遂行）の柔順な道具たらしめんと努力してゐる。

フアシズムは、即ち、戦争である。フアシズムは、弱小國の獨立を脅かし（例へば、伊太利フアシズムのエチオピア攻撃）、植民地、半植民地諸國における帝國主義的搾取を、その軍事的挑戰を、特に、ソヴェト連邦に對して、激しく行はれて

一、青年同盟の性質を 轉換させる事が必要だ

一、勤勞青年の闘ひは、彼等が、階級的、非黨派、非黨員、民族革命主義者、平和主義者、信心深いもの、其他一切の青年層（セクシヨン）からなる幾多の組織、そして、勤勞青年の經濟的、政治的、並に文化的利益、權利に、日々々々に注意を拂ひ、其會員達を、階級闘争、プロレタリア國際主義、マルクス・レーニン主義の精神に於て教育する

所の諸組織——に統一される事を要する。此種な、新しい型の、大衆的な青年組織の作り出す爲には、青年共産黨の根本的再編成が必要であり、共産黨のやることを、宗派的に模倣する——何んな形に於ても——事は、之をだん固として去らなければならぬ。

青年共産黨の内容、生活（活動）を決定するものは、抽象的な政治ではなく、勤勞青年子弟の重大利害、青年の、多種多様な、健全な諸要求でなければならぬ。之等諸組織の仕事は、凡て、青年自身の要求、必要に適合され、かくて、勤勞階級の重大利害に就て、此處に、組織をきづき闘争を展開する間に、青年が、自由と社會主義の爲の闘争の精神、反動とフアシズムと帝國主義反對の精神に教育されるやうにすべきである。

△ 全ての青年に門戸を開け

二、これら青年組織の門戸は、労働階級子弟、農村青年、學生、其他、之等諸組織の活動に、忠實、且、まじめに参加する事を望む者に對し、廣く開放されるべきである。

之等諸組織の活動は、廣汎な民主主義の土臺の上に築きあげられ、會員達は、會の任務、仕事のやり方、組織の性質等を民主的にきめる全權を享受すべく、（從つて）之等のものを指導する場合同様の命令——此處に、權を引いて説明、説得の方法を用ひよ——は絶対に禁物である。會の活動、規律等に關し、指導部が、平會員——特に新入會員——に提案する色々の要求は、青年組織の大衆的性質に適合するものでなければならず、

二、労働階級青年の 統一の爲に

一、全勤勞青年をキウ合せんと努力してゐる本大會は、青年社會主義同盟との組織的統一（合同）をもち來らす爲の努力を以て、青年共産黨と

合同への道を切り開く、青年共産黨同盟の組織は、社會主義青年の諸組織と友誼的關係を獨立する爲にあらゆる努力を傾け、特に、實踐に於て青年の統一戦線をもち來らすやうに活動しなければならぬ。

フランス、スペイン、オースタリーの共産青年

△ 青年の統一戦線

二、共産主義及社會主義青年組織の直接合同に對する主要な妨害は、社會主義インテリゲンチヤナル加緊政黨大多數の指導者達の間に於てある。これらのものは、社會主義青年運動の保護者を以て任じ、社會主義青年（運動）の指導的役員中の或る部分を基礎として、統一問題に關して、會員達が自由にイニシアチヴ（創意）を發揮することを邪魔してゐる。

△ 共同行動

三、統一戦線を、共同行動の一方、共同行動の利益を考へ、合同協議會を作り、かくて共同行動のたえざる協力をもち來らざる事が必要である。フランスに於ける「協働委員會」、スペインに於ける「同盟委員會」の組織を出發點とし、共産同盟及び社会主義青年同盟の兩者間の各種反ファシスト協議會を創設することが必要である。

このやうな協議會が形をとり、同盟は獨立であり、夫々の國における共産主義にコミンテルン（國際共産黨）、キム（國際せいねん共産同盟）との在り方の關係を保つて差支へないものである。

四、フランス、スペイン、オースタリ、ラトビア、等々、多くの國々に於ては、すでに、共同行動を一つの組織に合同させる實際的條件が具備してゐる。

統一組織を形成し、之を發展させる爲の必須條件は、合同に基礎となるべきもの（資本主義的搾取と、ファシズムと帝國主義戦争に抗し、せいねんの緊要利益を維護する今後の闘争方針）及び、合同後の組織が、黨と何んな關係を保つか、そして國際的に、國際通信コンメンテルン特設第八號一つのインターナショナルに加勢するといふ問題を會員自身が決定する完全な民主的権利である。

國際せいねん共産同盟は、何れの國たるかを問はず、統一された同盟形成の爲に、出来るだけ實際的援助を與へる。同時に、國際共産せいねん同盟は全世界の革命的せいねんの統一、一つの青年インターナショナル形成の爲に、積極的奮闘の決心を保持して居る。

△ 共同協議會

一、せいねん子弟の大多数が飽乏状態にあり、彼等が、自己の利益の爲に闘ふ意志をメキメキと持ち上げてゐる事實からして、自由と平和とせいねんの爲に、非ファシスト青年組織の全せいねん力をきり合する事が緊急な任務として生れてくる。國際せいねん共産同盟のフランス及びアメリカ支部は、此任務の巨大な重要性を理解した。これは之等の國に於て現在起りつゝある青年の廣汎な統一戦線運動に、兩支部が、積極的に参加したことに於て、これ等兩國に於て、共同行動が成功したのには、あらゆる種類の大衆的團體から、討論會に青年を参加させ、協力を目標とする共同行動の作成に參與させたからである。

此やうなせいねん子弟の運動を發展する可能性を多分に持つた國は、此他にも多くある筈である。だが、或る國（カナダ、イギリス、スウェーデン）では、此仕事は、まだ、ほんの第一歩をふみだしたに過ぎないし、大多数の國々では、此第一歩さへもふみ出して居ない。多くの國々に於て、共産同盟の同盟員達は、せいねん子弟が直に對してゐる問題を理解せず、ブルジョア的によつて作られた青年組織の若人達に向ひ、狭い、宗派的な態度をとり、アツサリと之等の團體及び、其會員を敵と見なす態度に出で居る。中には、我々の同盟員が實際組織

三、全ての青年勤勞者勢力の統一

一、せいねん子弟の大多数が飽乏状態にあり、彼等が、自己の利益の爲に闘ふ意志をメキメキと持ち上げてゐる事實からして、自由と平和とせいねんの爲に、非ファシスト青年組織の全せいねん力をきり合する事が緊急な任務として生れてくる。國際せいねん共産同盟のフランス及びアメリカ支部は、此任務の巨大な重要性を理解した。これは之等の國に於て現在起りつゝある青年の廣汎な統一戦線運動に、兩支部が、積極的に参加したことに於て、これ等兩國に於て、共同行動が成功したのには、あらゆる種類の大衆的團體から、討論會に青年を参加させ、協力を目標とする共同行動の作成に參與させたからである。

此やうなせいねん子弟の運動を發展する可能性を多分に持つた國は、此他にも多くある筈である。だが、或る國（カナダ、イギリス、スウェーデン）では、此仕事は、まだ、ほんの第一歩をふみだしたに過ぎないし、大多数の國々では、此第一歩さへもふみ出して居ない。多くの國々に於て、共産同盟の同盟員達は、せいねん子弟が直に對してゐる問題を理解せず、ブルジョア的によつて作られた青年組織の若人達に向ひ、狭い、宗派的な態度をとり、アツサリと之等の團體及び、其會員を敵と見なす態度に出で居る。中には、我々の同盟員が實際組織

一、本大會は、ファシスト諸國内にあつて、闘争しつゝある所の凡ゆる革命的せいねん組織に對し小さなサークル、一般的なアチ（運動）をやめて直接合法的、並に、半合法的大衆活動に移ると云ふ新しい任務を課する。ファシスト獨裁の國にあつては、せいねんの緊急利益の爲の闘争の大衆運動を展開させる合法的可能性は無い、等と考へることは全くの誤りである。

之らの國々に於ける青年の多くは、自發的、或は、強制的に、ファシスト青年團體に加入してゐる。これらの團體の内部で、青年の廣汎な自發的活動をもち上げる事は可能である筈でなく、必要である。之等の青年の中には、ファシズムとファシスト指導者共によつて與へられた誤つた理想を、未だに信じて居る者が、馬鹿にでき無い位多くある。しかし、一方、生活の苦しい現實と、自分達の欲求、要求が、満たされてないといふ事實から、不満がわき、活動が始められる。之等の不満活動は、夫でも、まだ、ファシスト支配に對しては必要を維護するためのものである。

我々の任務は、ファシスト獨裁を倒す爲に、必要を飛ばす事なく、青年の日常要求、必要を維護し、此基礎に立つて彼らを支持、統一し、あらゆる合法的、半合法的可能性を利用、非合法組織の活動を、此任務に従属させる様にすることである。國際通信コンメンテルン特設第八號ファシズムが約束したものを、實際に履行せよと青年自身が頑強に要求する様になる事こそ、實に大事であり、斯くて、彼等は、ファシズムに對する

△ 青年反ファシストグループ

二、「せいねん共産同盟は、ファシズム及びせいねんに對する前代未聞の抑壓と軍事化に反對して闘ひ、せいねん子弟の經濟的、文化的権利の爲、そして、之ら若い勤勞者達を、工場、職能労働所、職能紹介所、兵營、海軍、學校、スポーツ團體、文化其他の組織内にあると問はず、反ファシスト戦線の陣に引き込む爲に、あらゆる種類の共同組織を作つてまで、すべてのせいねん力を統一させるために、出来る限りの方法を講じなければならぬ。」

（ドミトロフ）

全力を盡し、出来るだけのインシアチーブを發揮し、此實に重大な任務を遂行すると共に、我々は、次の事を強く記憶しなければならぬ、即ち、獨裁的力の形跡方法は、せいねんの文化的、政治的水準、特に個々の國に於ける青年の問題、青年の各種層（セクション）の當面してゐる諸問題を考慮に入れ、できるだけ民主的にきめるべきであるといふことを。此際、農村青年、及び學生の間に於て活動する事に特別の注意を拂ふべきである。

反動とファシズムに抗し、青年の統一の爲に闘ふに當り、青年の廣汎な層に對する宗派的態度をだん然清算する事の欠くべからざる事を、共同行動は知らねばならぬ。疑ひもなく、青年自身の生かした言葉を聽る事を學び、かびの生へた、とつ

ておきの言葉は、之は、奇麗なサツパリと忘れてしまふことが肝心である。ファシズムに對する思想的闘争に於ては、自國民衆の民族的感情は、決して輕侮せず、只、夫と同時に、忍耐強く、排外主義と闘ひ、プロレタリア國際主義のせいねんに於て青年を教育することが特に肝心である。民主的傳統を頭におき、ファシズムに抗し、あらゆる民主的權利を維護し、青年に對する何んな抑壓的手段にも抗し、彼等の經濟的、文化的、民主的權利の爲に闘ふ事が基本的である。

ファシストテマゴングのテマを専門とする奴共が、勤勞青年の感じ、要求にビツタリするスロガン、約束等を持たした時には、場所の何れを問はず、ちう踏する事なしに、以下の如く行動すべきである、即ち、青年に向ひ、之らの約束が直に履行されるやうに要求せよと勧め、同時に、之が實現されるやうに、獨目的大衆闘争を開始するやうに提議すべきである。

四、本大會は宣言する、國際共産せいねん同盟は、何れの國たるかを問はず、ファシズムと戦争に對する闘争に、あらゆる支持を惜むものではない。國際せいねん共産同盟は、世界會議召集の準備及び進歩的せいねんの間に於ける恒久的協力の爲の努力に、積極的支持を與へるものである。

四、ファシスト諸國に於ける青年運動の任務

一、本大會は、ファシスト諸國内にあつて、闘争しつゝある所の凡ゆる革命的せいねん組織に對し小さなサークル、一般的なアチ（運動）をやめて直接合法的、並に、半合法的大衆活動に移ると云ふ新しい任務を課する。ファシスト獨裁の國にあつては、せいねんの緊急利益の爲の闘争の大衆運動を展開させる合法的可能性は無い、等と考へることは全くの誤りである。

之らの國々に於ける青年の多くは、自發的、或は、強制的に、ファシスト青年團體に加入してゐる。これらの團體の内部で、青年の廣汎な自發的活動をもち上げる事は可能である筈でなく、必要である。之等の青年の中には、ファシズムとファシスト指導者共によつて與へられた誤つた理想を、未だに信じて居る者が、馬鹿にでき無い位多くある。しかし、一方、生活の苦しい現實と、自分達の欲求、要求が、満たされてないといふ事實から、不満がわき、活動が始められる。之等の不満活動は、夫でも、まだ、ファシスト支配に對しては必要を維護するためのものである。

我々の任務は、ファシスト獨裁を倒す爲に、必要を飛ばす事なく、青年の日常要求、必要を維護し、此基礎に立つて彼らを支持、統一し、あらゆる合法的、半合法的可能性を利用、非合法組織の活動を、此任務に従属させる様にすることである。國際通信コンメンテルン特設第八號ファシズムが約束したものを、實際に履行せよと青年自身が頑強に要求する様になる事こそ、實に大事であり、斯くて、彼等は、ファシズムに對する

の闘争に突き進み得るのである。

二 青年のせい力を、彼らの利益の爲の闘争に結合する目的を以て、(我々は)青年達の間に於けるフアシスト活動の、大衆的形態、方法を利用すべきである。之は、まづ、あらゆるフアシスト大衆的組織、および労働組合の内部で活動し、之らの組織の會員達の内にある反動的な運動を何處迄も支持、奨励し、フアシズムの意識の手先達を孤立させるに適した形態を創始する事を必要とする。ポーランド、ユーゴスラビア、ブルガリア、オーストリア等々の如く、反動的な運動、又は、民族的、自由主義的、並に、急進的の青年サークル、又は、グループが存在する所では、其何れたるかを問はず、完全にフアシズムから孤立した青年組織の結成、および、これらの組織との共同行動の爲に活動することが必要である。

五、労働組合運動における青年の任務

労働組合青年同盟の大会は、労働青年の極めて大部分しか、労働組合に組織されておらず、且、

労働者、明日の子孫が、労働組合運動にあつて、戦時的階級闘争心と、労働階級の闘いの爲一歩をさしけるに神において教育されてゐないことを見、これにつき奮闘をならす。

それにして、青年の経済的、文化的利益の爲に闘ひ、せい年の闘いにフアシスト的影響のひろがることに對して闘争し、成功を収めるには、労働組合の援助が不可欠である。だからこそ、労働組合に、全青年労働者を組織し、組合内部に於てせい年の大多数に對し、活動する種々様々の形態を考へることが必要である。

本大会は、国際共産青年同盟を支持する青年労働者すべてに向かひ、労働組合に加入し、組合統一の爲の闘ひに、積極的に参加し、そのすぐれた活動の結果、同僚組合員の尊敬をかちうる様になれ、と呼びかける。ある國々、例へば、オーストリア、ベルギー等で、ある種の労働組合が青年労働者の組織を始めたことを重要と認め、本大会は全支部にむかひ、次のことを勧める、即ち、赤色組合は勿論、アムステルダム系、その他の組合が青年労働者を加入せんとする宣傳、及び、實際的歩武は、之を積極的に支持せよ、と。

六、スポーツ分野に於る統一戦線の任務

本大会は、ブルジョア國家から孤立した青年のスポーツ運動を展開することの至上性を強調し、全支部にむかひ、各自共、労働者スポーツ運動の国際的統一をもちきたらせる様によびかける。しかしながら、大多数の國々における労働者スポーツ運動は、統一された組織すらも労働青年スポーツメンの一部分しか包含してゐないといふことを記憶せねばならぬ。従つて、若い労働者を多くもつてゐるところの全スポーツ組織と協力し、これの統一にも積極的に参加する事が必要である。フアシスト諸國におけるスポーツ大衆組織に加入するとともに、スポーツメンの間における排外軍事宣傳と闘はねばならない。自己の直接要求に對する運動家大衆の間には、支持と指導を與へねばならぬ。若い運動家大衆との協力に於て、目下、最も重要な任務は、オリンピックを、フアシスト獨逸で開催することに反對の共同闘争である。

七、反帝國主義人民戦線への青年の参加

植民地、半植民地諸國における最重要、最緊急な任務は、青年子弟の間における文化、教育、國民文化の自由、生活、仕事に對するヨリ好い、

、小規模な條件、民主的權利と自由の爲、そして、抑壓と奴隷と搾取反對の基礎に、勢力なる青年運動をきづくことである。

此事を頭に入れ、国際共産青年同盟加盟の團體は、あらゆる大衆的若年組織、特に民族革命、並に民族改良主義團體とヨリ緊密な關係を結ばねばならぬ。これらの組織及びその他の團體と協力と共に、一國の地方々々によつて、青年のいろいろな層(ストライカー)に相違があることを認め、労働青年の利害の爲に廣泛な階級の基礎に、青年子弟のせい力を合流させ、また、それが何處に存在し、何とも、これらの組織を擴大、統一する爲に多種多様の青年組織——例へば農林子弟、アメリカインディアン、黒人、學生、女子、文化、運動、其他——の組織をつくることが必要である。

八、フアシズム反對、社會主義と勤勞青年の自由、幸福な生活の爲に

国際共産青年同盟大会は、誇りと喜びを以て、社會主義のソヴェート國における決定的、且、最終的勝利にあいさつを送る。ソヴェート同盟のせい年には、幸福な社會主義未來の門戸が開かされてゐる。彼等の教育の根底にはスターリンの人類の爲の偉大な思想が凝たはつてゐる。

偉大な教師であり全世界青年勤勞者の最善の友であるスターリンの賢明な指導の下に、又、ボリスエヴィキの指導の下に、ソヴェート同盟の青年は、人による人の搾取を知らぬ階級なき社會主義社會建設の爲の闘争に次から次へと勝利の道をあゆんでゐる。

ソヴェートの國は、マルクス、エンゲルス、レーニン、スターリンの革命的教へを、實生活に移しかけて、既に自由と平和の爲の、國際プロレタリアートの打ち破り難い砦となつた。

「國際通信」ペンフ 昭和十一年一月十日印刷發行 KOKUTSU (Japanese) & The Prompt Press, 39 E. 12th St., New York, N. Y.

することは、青年同盟の任務である。フアシズムは、平和と労働の爲に對する攻撃を準備し、萬國勤勞者へ恐るべき脅威をもたらさんとしてゐる。然しながら、あらゆる資本主義國も、フアシスト諸國におけるいたましい困難にも苦しい生活状態にも拘らず、ブルジョアイの支援を粉砕するせい力は、成長しつゝある。「世界的規模における階級せい力の消長は、成長しつゝある革命のせい力に着々有利になりつつある」(ハコンメンテルン第七回世界大會決議)。

内務省
昭和十三年三月二十三日
訓第
No.

国立国会図書館

